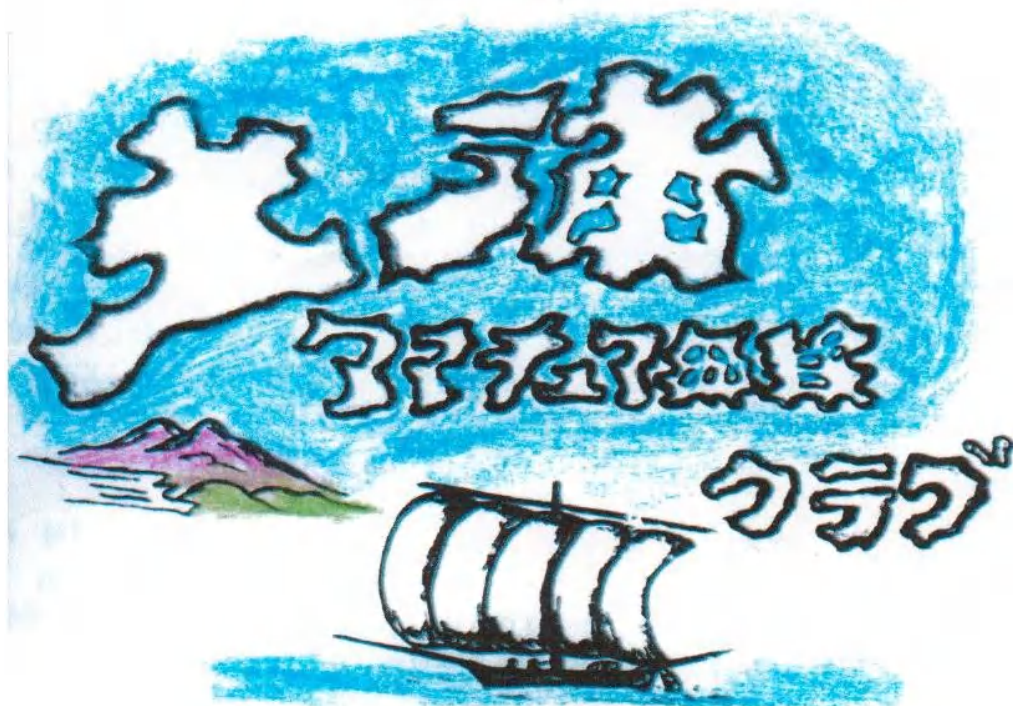




全日本アマチュア無線連盟



JQ1SLZ 岡崎さんのタワーとアンテナ、見事に復活されたました
(復活の経緯は記事をご覧ください)

お 知 ら せ

事務局 JH1WGP 大木 武

★ 6月23日(土) 役員会が開催されました

今後のクラブ行事の実施計画について、四中地区公民館にて役員会を開催し、協議しました。(14局出席)

★ 第33回オール茨城コンテスト第二部(6m AND DOWN コンテスト併設)

4月に実施された第一部に続き、今回も参加します。

コンテストには自宅や移動運用での参加ができますが、クラブとしては竜ヶ峰山荘での運用を中心に参加します。ご自宅でもふるって参加願います。

山荘では、コンテスト開始前にアイボール会を開催し、大いに闘志を盛り上げたいと思います。是非とも多くの皆さんの参加をお願いします!!

アイボール開催時間 午後5時～(役員集合 午後3時)

* コンテスト日時 2012年7月7日(土) 21:00～8日(日) 15:00(JST)

* 使用周波数 50～435MHzのコンテスト使用周波数及び1200MHz帯以上の各バンドの電信、電話モード

★ 7月21日～22日 茨城・栃木合同ミーティングが開催されます

詳細は、3ページをご覧ください。当クラブとしては、次のように参加します

集合場所 : 竜ヶ峰山荘(資材積み込み)

集合時間 : 午後1時(積込完了後、出発)

模擬店 : かき氷、焼鳥(JG1WMN局準備)

メニュー : BBQ、おにぎり、汁(JF1KZD局準備)

参加方法 : オンエアーミーティング、あるいは役員宛に連絡ください。

★ その他クラブ行事

8月以降の行事は、次の通りです。是非、ご参加ください。お待ちしております。

1. フィールドデーコンテスト/アイボール会 8月4日～5日
日時: 8月4日午後5時 (役員集合時間: 午後3時、草刈りを行います)
場所: 竜ヶ峰山荘 豪華な飲食が期待できます。
(例年に加え、お好み焼きが追加されます)
2. ハムフェア 2012
日時: 8月25日(土)～26日(日) 場所: 東京ビックサイト (自由参加)
3. ナイトボウリング大会
日時: 9月1日(土) スタート時間: 午後7時
詳細は、追ってお知らせします。

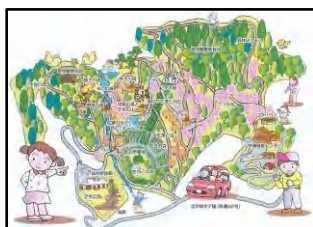
=====

米国の免許を取りませんか?

JA1PBV/WK1S 伊藤 寧夫

ようこそ ARRL/VEC 茨城 VE チームへ!

[http://web.me.com/ysone/VE-Ibaraki/Welcome to ARRL VEC Ibaraki VE Team.html](http://web.me.com/ysone/VE-Ibaraki/Welcome%20to%20ARRL%20VEC%20Ibaraki%20VE%20Team.html)



茨城・栃木合同ミーティングの案内

主 催：茨城県支部、栃木県支部
 ホスト：茨城県支部 大子アマチュア無線クラブ
 場 所：茨城県久慈郡大子町高柴 奥久慈憩いの森
<http://www5.ocn.ne.jp/~ikoimori/>

日 時：2012 年 7 月 21（土）～22 日（日）

21 日（土）13:30～16:30 受付 17:00 開会

22 日（日）09:00 閉会

参加費：参加者 1 人 1,000 円（18 歳以下無料）

宿泊費：高校生以上 1,410 円 小・中学生 690 円

- ①林業研修センター 和室（定員 5 人）×4 室
洋室（定員 4 人）×6 室
- ②ログハウス 洋室（定員 4 人）×5 室
- ③キャンプ場 テント持込 1 張り 590 円
- ④ワゴン車など車中泊は無料（駐車場内）

キャンプ場利用と車中泊の方はお風呂使用できません

- ⑤模擬店、ミーティングなどのテント張り料 無料

内 容：

- 1. 開会式
- 2. 参加クラブ自己紹介
- 3. ビンゴ大会
- 4. アイボールミーティング
- 5. ジャンク市、模擬店、など

誘 導：JL1YJL 145.00MHz 439.78MHz（大子レピータ）

申込み：クラブ役員まで

（研修センター、ログハウス、テント、車内泊の別、コールサイン、クラブ名、住所、氏名、人数などを知らせてください）

締切り：7 月 5 日（木）まで

その他：

- ①参加費・宿泊費の支払いは当日受付にて

- ②集会場から宿泊施設まで約 100m、

キャンプ場まで約 800mです

車両進入は荷物運搬のみです

- ③集会場（模擬店、バーベキューなどの会場）は水、電気ありません
 発々、水のタンク（水道は宿泊施設にあります）をご持参下さい

- ④キャンプ用具、ご持参下さい

- ⑤ゴミはお持ち帰り下さい

- ⑥その他の注意事項は、憩いの森 HP で確認して下さい

- ⑦大子アマチュア無線クラブは、生ビールを 1 杯 100 円で販売します
 以上



設備の保守管理をする

JQ1SLZ 岡崎 隆幸

今回、タワーとアンテナ保守状況を紹介します。

タワーは LUSO クランク 22 のタワーに、上から GP (2m と 430) の下に LUSO 製の 2m の 10 エレ 4 パラ、その下にクリエート・デザイン製の HF4 エレ 218H (7/21/28) が上がっていました。2m の 4 パラのクロスマウントが経年劣化で破損し、下の HF4 エレに落下したために、GP 以外アンテナを撤去し 10 数年が過ぎていましたが、今回、設備の保守点検を兼ねてリニューアルしようと決意し、いろいろと始めました。

まずクランクアップタワーのワイヤーの交換です。ワイヤーに薄く赤さびが出て手で触るとワイヤーの素線が思った以上に切れて危険な状態でした。LUSO に問い合わせるとワイヤーの値段が意外と高く、知り合いのワイヤー屋さんに材質と長さを指定し作ってもらい、後日取り付けました。



次にローテーターが回らずタワーから取り外し分解したら大変。グリスが固形化しモーターも回らず手に負えずエモテーターに OH を依頼、1 週間位で出来上がりました。本体はもちろんコントローラーの内部の輪ゴムみたいな部品まで交換してくれました。

アンテナはメインを HF にしようと思い、

既存の 4 エレの修理をすることにした。エレメントが折れ曲がった個所をジャンクパイプで補修し、曲がったブームは天野アルミで同サイズを購入し取り換えました。又、新しく 20m バンドの 5 エレの八木を考え既製品は高いので作ることにした。アンテナハンドブック (昭和 60 年発行 P79) を参考に、先程の天野アルミで部材を購入し、製作を始めました。既製のクロスマウントは高いので 4mm のアルミ板で自作、オメガマッチの為耐圧バリコン 2 つを秋葉原のジャンクパーツで見つけ、容量が大きいので目的の数値に近くまで羽根(?) をベビーサンダーで取り外して使用し、これぞアマチュア精神と満足し、組み立て・仮調整で納得いく数値を示した為、タワーに取り付けました。



40m バンドと 80m バンドはタワー中段よりダイポールを張り OK。

又、HF 使用機材は FT-2000D、FT-102、TS-440S。

夏の暑い時期を待たずにここまで出来ました。これも会員各局、ローカル OM 各局のご指導があつての事で、土浦アマチュア無線クラブに入会して良かったと思います。

これからもご指導のほど、お願いします。





DX Code of Conduct

DX 運用規範

<http://www.dx-code.org/home.html>

JA1PBV 伊藤 寧夫

DX 局との QSO をする場合の心得です。ご参考までに掲載します。

- I will listen, and listen, and then listen again before calling.
私は聞いて、聞いて、そして、さらにもう少し聞きます。
- I will only call if I can copy the DX station properly.
私は DX 局の信号をきちんとコピーできるときにだけ、呼びます。
- I will not trust the DX cluster and will be sure of the DX station's call sign before calling.
私はクラスターの情報を盲信せずに、呼ぶ前に DX 局のコールサインを確認します。
- I will not interfere with the DX station nor anyone calling and will never tune up on the DX frequency or in the QSY slot.
私は DX 局や DX 局を呼ぶ局に混信を与えず、DX 局の送信あるいは受信周波数で送信機のチューニングをしません。
- I will wait for the DX station to end a contact before I call.
私は DX 局が交信を終えるのを待ってから呼びます。
- I will always send my full call sign.
私は常にフル・コールサインを送ります。
- I will call and then listen for a reasonable interval. I will not call continuously.
私は呼んだあと、妥当な時間聞きます。呼び続けることはしません。
- I will not transmit when the DX operator calls another call sign, not mine.
私は DX 局が別のコールサインを呼んでいるときには、送信しません。
- I will not transmit when the DX operator queries a call sign not like mine.
私は DX 局が私のコールサインと似ていないコールサインを尋ねているときには、送信しません。
- I will not transmit when the DX station requests geographic areas other than mine.
私は DX 局が別の地域を呼んでいるときは、送信しません。
- When the DX operator calls me, I will not repeat my call sign unless I think he has copied it incorrectly.
DX 局が私を呼んでいるときには、DX 局が間違ってコピーしていると考えない限り、自分のコールサインを繰り返しません。
- I will be thankful if and when I do make a contact.
私は交信ができれば感謝の気持ちを持ちます。
- I will respect my fellow hams and conduct myself so as to earn their respect.
私は仲間のハムを尊敬し、他のハムの尊敬を得られるようにふるまいます。

“吾輩は”真空管ラジオである“

JR1CCP 長塚 清

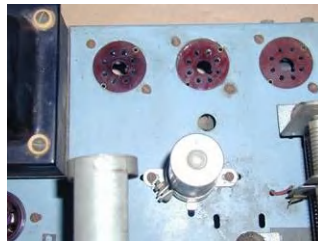
先日・・・と言ってもまだ雪が降っているころのことです。クラブ員の JG1HJV 森田さんから真空管のラジオを頂きました。それは1年前の東日本大震災の時に棚から転落してしまい木製ケースが壊れてしまったラジオでした。聞けば森田さんの亡くなられたお父さんが、組み立てたとか・・・友人が組み立てたとか・・・なんとか復活させたいと思いました。



年代的に昭和25年ごろ。頂いたラジオはこんな形だったようです。（前面のみ）当時（昭和25年ごろ）の電機メーカーは“松下”“早川”マツダ““テン”・・・など。この“VENICE”はどこだろう？

いろいろ調べてみると当時の“キャビネットキット”メーカーだったようでした。これってなんだろう？とさらに調べるといろいろなことが見えてきました。戦後（昭和20年以後）、メーカーのラジオと並んで素人作のラジオが一世を風靡した時代がありました。製品としてのラジオには20%もの物品税が掛けられていました。電蓄（ステレオですね）に至っては40%近かった。しかし、何とか安くラジオを手に入れるための一つの節税対策が“キャビネットキット”なる物なのです。これは素人が部品を買い集めラジオを組み立て販売するための一つの方策でした。この時代メーカーの生産台数の2倍以上の聴取加入があり、メーカー以外の誰かがラジオを作っていました。これが“素人ラジオ工場”なのです。しかしこれもそんなに長くは続かない。素人作のラジオに政府は課税をしたのです。二重課税とな猛反対に会い政府はすぐさま引込める。その後、製品としてのラジオの物品税が下げられ、素人ラジオ屋の旨味は低下してしまいました。その後数年でテレビ放送が始まります。

★そこで、頂いたラジオを見てみよう。（んん・・・お宝鑑定団のようだ・・・）キャビネットには、VENICEのブランドの文字、シャー



シは鉄製である。ソケット開口はST管にも対応できる。ボリューム用の穴は写真の様に、バンドスイッチやボリューム、入力切替等に対応できる万能シャーシ。背面の蓋に、こんなシールが貼られている。

“関東ラジオキャビネット物品税完納協力会”＝このキャビネットキットは物品税支払い済。素人ラジ

オ屋さんがラジオを作って売る際にケースは物品税を払っていますよ“という証です。長続きは続きませんでした。が、時代の瞬間を見た感じがします。そう思えば今は・・・受信機だって送信機だってアンテナだって自由に作れるってとても素晴らしいと思います。使うための手続きは若干面倒ではありますが・・・※現在このラジオはキャビネットの再塗装を終え、再組み立てに入る段階です。進み具合を写真でお知らせしたいと思います。（いつになるか???)

自己紹介、そして、やれば出来る

JJ1ATZ 大久保 和夫

土浦アマチュア無線クラブの皆様、今日は。
本年度より皆様のお仲間に入れさせていただきました、JJ1ATZ の大久保です。

私の自己紹介をさせていただきます。どの様な事を書いたら良いのか判りませんが

まずは現在の QTH ですが、つくば市の小白碓（コジラハザマ）です。イメージとしては、27 年前に科学万博が開催された場所（現筑波西部工業団地）と、旧つくば市谷田部庁舎の中間辺りです。

次に、私とアマチュア無線の出会いですが、中学 2 年のころに近くの方がアマチュア無線をしているのを知り興味を持ったのが始まりでした。そして、中学時代に同級生と東京まで試験を受けに行き、全員落ちた苦い思い出があります。

従免の免許取得は高校生の時になります。そして従免をもらって、あ～あ～あ～と言っているうちに、37 年以上が経ってしまいました。この間に色々なことがありました。社会に出てから土浦アマチュア無線クラブに入れて貰おうと思ったけど、OM さんばかりで気が退けて申し込みませんでした。

そうこうしている内に JQ1SLZ 局に出会ったのです。会社の先輩から JQ1SLZ 局の事を知っているかと聴かれたのです。話を聴くと高校時代の同級生ではないか！

この出会いが、私が無線の世界に留まる大きな要因になっていることは間違いありません。以来、無線以外の事にも公？私共に永く付き合っています。

そのコミュニケーションの方法としてアマチュア無線が欠かせない物となっています。

土浦アマチュア無線クラブの皆さん、これからの付き合い宜しくお願い致します。現在は、145MHz と 435MHz の FM に出ています。



そしておしまい、JQ1SLZ 局の上級資格取得に影響を受け、「アマチュアは進歩的であること」の言葉にも影響を受け、37 年間電話級（四級）でいたハムライフに変化を齎すべくトンツーに挑戦してみました。それともう一つ HF 機の、出力が違っても定価が同じという事に、不満的な思いが生じたためでもありました。

モールスは何度か覚えようと思ってもその都度挫折していました。が、今回は何としようと思ひ、三級短縮コースに申し込んでしまい、自分を追い込んで、モールスに挑戦しました。結果、講習会の修了試験に合格いたしました。モールスを覚えるのも大変でしたが、やれば出来るものでした。37 年間の電話級（四級）のお蔭も出来て良かったと思っています。JH1AHY 加藤さんが講師で解り易かったです。

（三級の短縮講習会、四級持っていればモールス覚えて行くだけで良いかもです。）

東日本大震災復興祈願花火大会

Jl1WLL 小澤 靖

6月2日福島県伊達市阿武隈川河川敷で行われた花火大会に行ってきました。

玉数は約一万発 10号玉が多く打ち上げられました。今年の各地で行われる花火大会先陣を切って行って参りましたが、カメラマンは多くいつも見かけるお歴々ばかりでした。カメラ小僧、いや爺連です。

日中臨時駐車場ではクーラーを付けなければならなかったのに夕暮れとともに肌寒くなり、がたがた震え、指先が凍え出すほど寒くなり、スキー用の防寒具を着ました。温度差が激しく風も少し強かったのも有り、ハーフトーン色がすごく綺麗に見えました。

又、露天商が多く出て、いろいろな露天が整然とお店を開いてました。

観客数は約10万人とか。帰りの駐車場から脱出するのに約2時間掛かりました。

宿は、福島市内のビジネスホテルを予約してたので、遅くなっても私の体力は持ちました。

今回の往復時、放射能の残留濃度を調べながら走りましたが、依然、私たち土浦に住むものにとっては昨年4、5月時の濃度でした。私の孫たちには住まわせてはいけないような放射能濃度です。福島にお住まいの方々に申し訳ない気持ちになりました。それが、今回の花火大会観賞の印象でした。

ネット利用の方は、一足早い納涼花火をカラーでご覧になってください。

http://youtu.be/bd9p-7c_FGg



皆さん、記事をお待ちしています。近況で結構ですので、連絡してください。

平成 24 年度 第 4 号	通巻 440 号	JARL 登録番号 14-1-0018
発行日：平成 24 年 7 月 1 日	発行者：土浦アマチュア無線クラブ 事務局	
オンエア ミーティング：毎週月曜日	PM9：00～ JR1VG レピータ（439.70MHz）	